2024 Reading and Writing 2A（田中）

【要約課題】Chapter 3-1 (p.14)

提出期限：5月28日（火）23:59

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 学籍番号 |
| 栗山淳 | 8223036 |

＊Chapter 3 (p.14) の各段落の要約を書きましょう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段落 | 行数 | 要約 |
| 1 | ll.1-3 | 日本の株式市場は長く低迷しており，30年以上たってやっと低迷から脱却できた。日本の株式市場はバブル崩壊以来，最高値で取引されている。 |
| 2 | ll.4-7 | 今年，TOPIXと日本平均株価は上昇し，これは米国や欧州の指数を上回っている。 |
| 3 | ll.8-15 | 日本株は割安なバリュエーション，インフレ回復，通貨安，そしてウォーレン・バレットの支持が要因で高騰している。 |
| 4 | ll.16-19 | 投資家らは日本株の緩やかな上昇が世界第3位の経済大国の持続的な市場の復活につながると期待してきた。 |
| 5 | ll.20-23 | 日本株は株主利益の向上を強いられたコーポレートガバナンス規則の全面見直しによって最大の打撃を受けた。アナリストたちは日本に根付く構造変化が現在の市場上昇に持続力を与える可能性があると述べた。 |
| 6 | ll.24-29 | 東京証券取引所は企業に株価の純資産倍率を引き上げるように求め，半数の企業が割安な取引をしている。 |
| 7 | ll.30-33 | 日本企業の多くが長期間にわたり割安で取引されており，これが投資家の購入インセンティブを低下させていた。 |